

# 2024年度 カセサート大学短期研修 報告書

文学部 英語英米文学科 中井琴美

2024年2月27日から3月10日の13日間、タイのカセサート大学でプログラムに参加させていただきました。本報告書では、プログラム期間中に行ったことや学んだことをご報告します。

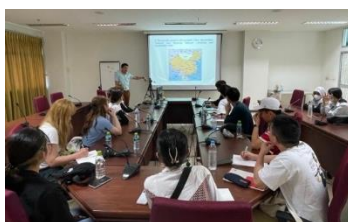
## ・タイ語学習

カセサート大学の学生に直接教わりながらタイ語を学びました。自己紹介や買い物をする場面で使える言葉を中心に学びました。見慣れない文字や発音に初めは苦戦しました。イントネーションやアクセントが少し違うと相手に伝わらないので、正確な発音をすることが難しかったです。授業の最後には、カセサート大学の学生を相手に実践を行いました。現地の学生と交流をしたり買い物をしたりしたときに、学んだタイ語が通じたことが嬉しく感じました。同時に、新たに言語を学び、少しでも使えるようになったことが自信に繋がりました。



## ・タイの歴史と文化

カセサート大学の先生に、タイの生い立ちや宗教について詳しく教えていただきました。タイの人々が王室や宗教、宗教における考え方をとても大事にしていることが分かりました。また、タイでは、さまざまな国の影響を受けていることも分かりました。最近では、若者を中心として、日本や韓国など他国のエンタメが流行していることも知りました。



## ・タイの伝統スポーツ体験

タイの伝統スポーツ、ムエタイを体験しました。パンチやフック、キックやブロックなど基本的な技を一から教えていただきました。体幹や柔軟性、俊敏性などが求められるスポーツで、想像以上に習得するのが大変でした。最後には、1人ずつ先生とマンツーマンの攻防練習をしました。手だけではなく、肘・膝・足も使うので、先生の指示通りの動きをすることが難しかったです。



### ・観光する中での気づき

街で見かけるバイクの数が日本よりも遥かに多かったです。バイクタクシーというものもあり、タイでは交通手段にバイクを利用する人が多いそうです。カセサート大学の学生も、学内やその周辺でよく利用していました。タイでは、トイレをするとき、トイレットペーパーを流すことができません。そのため、横にゴミ箱が設置してあります。最初はトイレットペーパーを流せないことに戸惑いましたが、日を重ねるごとに慣れていきました。寺院に行った際、多くの現地の人を目にしました。本をみながらお経のようなものを唱えている様子も目にしました。現地の友人もスラスラと言っていて、ほとんどの人は言えると聞きました。小さいときから仏教の教えが根付いているのだと感じました。また、宗教に誇りを持っているように感じました。宗教に対する信仰心が日本と違っていて魅力を感じました。



信号待ちをするバイク  
の様子



トイレットペーパーを捨てるゴミ箱



寺院

### ・まとめ

今回この研修に参加して、タイの文化、歴史、魅力などさまざまなことを見て、聞いて、知ることができました。私自身が初めての海外ということもあって、不安や戸惑いを感じる場面は多くありました。しかし、現地の方々のあたたかさや多くのサポートのおかげで、充実した13日間を過ごすことができました。サポートをしてくださったすべての方に感謝申し上げます。さらに、カセサート大学の学生や先生方をはじめとする現地の方々との新たな出会いに感謝すると同時に、このご縁を大切にしていきたいと思います。この研修を通して、積極性やコミュニケーション能力、協調性が成長できたと感じています。また、カセサート大学の学生の学ぶ意欲に刺激を受けました。学ぶ意欲を下げることなく、熊本県立大学でもさまざまなことを吸収していこうと思いました。タイで感じたこと、学んだこと、身につけたことを今後の生活や将来に生かしていきます。